

科目名	教育実践研究	単位数	2単位	科目コード	21P-M3 (2017カリキュラム の場合：17P-M3)
	Educational practice research	担当教員	専任教員	形態	オムニバス

【授業概要】

2年間の間でよりよい実践研究を遂行するため、研究で広く用いられている手法に関して、①テーマの設定、資料の検索、②データへのアプローチ、③データの収集、データの分析の三段階を網羅的に紹介する。さらに、論文を作成する際に必要な基礎的知識について学修することで、実践研究の基礎となる力を身につける。

【授業の到達目標】

1. 教育実践の研究を理論化するために、研究で広く用いられている手法について習得する。
2. 与えられたテーマについて解決策の検討を行い、優先順位をつけながら、それを先行研究や資料等からの引用を用いて立証することができる。

【授業計画】

- 第1回：専門職者としての研究Ⅰ～実践現場で働く（働こうとする）専門職たる職業人～（大野精一）
 第2回：専門職者としての研究Ⅱ～心理学におけるデータ収集～（大野精一）
 第3回：研究の組立て方～デザインと倫理～（仲久徳）
 第4回：論文の基礎～文献検索・引用のルール・課題の明確化～（石原朗子・岩澤一美）
 第5回：行動データ収集に関する方法論（杉山尚子）
 第6回：授業研究、デザイン研究の発想法（仲久徳）
 第7回：社会調査の発想法（細田満和子）
 第8回：アセスメントとは何か（阿部利彦・内田千代子）
 第9回：質的研究Ⅰ～インタビューの実施～（石原朗子）
 第10回：質的研究Ⅱ～インタビューの分析～（石原朗子）
 第11回：量的研究Ⅰ～アンケートの企画・設計・実施～（仲久徳）
 第12回：量的研究Ⅱ～アンケートの分析・報告のまとめ方～（仲久徳）
 第13回：省察に基づく実践と研究（三輪建二）
 第14回：まとめⅠ～学生の発表～（専任教員）
 第15回：まとめⅡ～学生の発表及び総括～（専任教員）

※他の授業との兼ね合いから順番や内容が変更になることがある。

※本授業では、第13回のみが第7週、第14・15回が第8週となる。

【評価方法】

発表及びレポートに基づき各学生の大学院のアドバイザー教員が評価を行う。

【教科書】

必要な場合には、当該学生の教育課題に即して、担当教員が指定する。

【参考図書】

必要な場合には、当該学生の教育課題に即して、担当教員が指定する。